



特集2 令和2年度に教育委員会が行う主な取り組み



時代を切り拓く力の育成

小池特別支援学校整備事業

本市西部地域における知的障害の児童生徒の増加への対応と、老朽化した校舎や、狭い運動場などの課題を解消するため、令和5年度中の供用開始に向けて、平成29年度から小池特別支援学校の整備を行っています。令和2年度は、第1期工事として主に管理・教室棟の一部、体育館・プール棟の改築工事を行うとともに、第2期工事の実施設計に着手します。



▲小池特別支援学校イメージ図(最終形)

令和2年度予算額 8億3,900万円

新規 医療的ケア児支援事業

児童生徒本人や保護者が安心して学校生活を送れるよう、必要に応じて派遣型の看護師を小中学校等に派遣するとともに、関係機関との連携を強化し、緊急時の対応体制を整備します。



令和2年度予算額 550万円

働きがいのある学校づくり

新規 教員の人材確保推進事業

教員不足が全国的に問題となっています。そのため、本市教員採用試験の志願者を確保するために、「本市で働く教員・北九州市の「教員のサポート体制」」の魅力伝えるPR動画を作成して、教員を志願する大学生などに広く公開します。



令和2年度予算額 230万円

スクール・サポート・スタッフ配置事業

学校現場における業務改善の一環として教員の負担を軽減し、子どもと向き合う時間を確保するため、スクールサポートスタッフを増員します。



令和2年度予算額 2億2,385万円

【主な業務内容】

- 学年だより、学級だより、会議資料等の印刷
- 印刷物及び学校配布物の数量確認と仕分け(学級別、該当者別等)
- 掲示物の張り替え
- 来客時の取次ぎ
- 電話の取次ぎ
- 校内清掃 など



未来を見据えた環境整備

学校ICT環境の整備

多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを学校現場で持続的に実現させる「GIGAスクール構想」の一環として、本市では、小・中・特別支援学校(小学部・中学部)について、
①1人で1台利用するタブレット型端末の整備(【目標】令和3年1月)
②無線LAN環境(アクセスポイント)等の整備
などの取組みを行い、全ての子どもたちの学びを保障する環境づくりを早急に実現します。



総事業費(令和7年度まで)	47億9,661万円
うち、令和2年度予算額	33億9,601万円

図書館に関する事業

新規 八幡図書館折尾分館運営・移転事業

折尾地区総合整備事業に伴い移転する折尾分館について、基本設計等に着手するとともに、令和2年度からは、JR高架下へ移転新設するまでの間、折尾駅周辺の民間ビルに仮移転し図書館業務を継続します。

移転住所

八幡西区折尾一丁目9番1号
(坂田ビル102号室)

令和2年度予算額 1,380万円



安心な学びの場づくり

防災・減災教育の推進 ～「守られる人」から「守る人」へ～

近年、大規模な気象災害や震災等が発生しており、自分の命は自分で守らなければならない場面があります。本市においても、平成30年7月に発生した豪雨では、実際に大雨や土砂災害の被害が発生し、児童生徒や学校が対応に苦慮したことから、将来、起こりうる災害に備えた取組みが必要となります。そこで、下記の事業に取り組むことで、「自分の命は自分で守る」とともに、「守られる人」から「守る人」となる児童生徒の育成を目指します。



令和2年度予算額 200万円

■北九州市防災教育プログラム(改訂版)の効果的な実施■

主な改訂内容

- ◆新学習指導要領の内容に沿った指導展開例
- ◆修正に伴い、付属のDVDのデータを資料編として再編集
- ◆災害時に、自分で判断し行動するための知識の定着を図るために、追加版として「雨・台風編」「地震編」「避難行動編」「ハザードマップ編」を追加



→北九州市防災教育プログラム(改訂版)は、動画配信サイトkitaQせんせいチャンネルに掲載しており、各学校の実態に合わせて活用します。

■モデル校による防災・減災教育の推進■

児童生徒が主体となって、学校・地域の実態に応じた防災・減災へ取り組み、北九州市全体に発信・啓発していきます。

モデル校

- ◆児童生徒が主体となった防災・減災の取組み
- ◆学校・地域の実態に応じた防災・減災教育の推進
- ◆児童生徒による防災・減災教育先進地訪問

授業公開
→
発信・啓発



北九州市全校・圏へ普及

※新型コロナウイルスの感染状況により取組みが変更になる可能性があります。

■災害時における避難場所の共有■

平成24年度より、大地震、津波等の突然の災害に備えて、新入園児・新入生を対象に「災害時連絡カード」を配布していましたが、今年度より、毎年必ず家庭で避難場所を確認し、災害時に即座に対応することができるように、家庭調査票に避難場所を記入する欄を設定しました。



北九州市教育委員会
公式チャンネル

授業動画や新型コロナウイルス感染症啓発動画等を公開しています。

